

12 天体観察



宇宙の神秘を体感しよう！

- 目的：自然に親しむ。
- 対象：幼児～
- 人数：200人程度
- 時間：1～2時間(天候等の条件により増減あり)
- 経費：なし
- 準備(団体の自主活動になります)

<団体>

・冬季の野外活動に適した服装、懐中電灯

※ 天体望遠鏡、フィールドスコープ等の借用については、所外で使用する場合、事前に借用書の提出が必要になります。なお、天体望遠鏡は事前の調整が必要となります。

<自然の家>

・使用道具、観察場所等の安全確認

天体観察のすすめ方

●使用道具 双眼鏡、フィールドスコープ、天体望遠鏡、星座早見表

●展 開

- ① 用具等の準備、集合、人員確認、健康観察
- ② 活動方法や注意事項の説明(引率者)
- ③ 活動(つどいの広場周辺)
- ④ 人数確認、後片付け
- ⑤ 活動のまとめ

●留意事項

- ① 観察指導は利用団体が行う。引率者は、事前に当所の機器の取り扱いについて職員と打合せを行う。
- ② 引率者は、事前指導、所員との打合せ、道具の準備、後、片付けの確認をする。
- ③ 振り返り(視点)
 - ・自然への気づきなど

●活動のしかた

1 星座早見表の使い方

- (1) 両手で持って、南の方角を向く。
- (2) 日付のメモリと観察したい時刻のメモリを合わせる。
- (3) そのまま頭上に上げると星座がわかる。

2 フィールドスコープの使い方

- (1) スコープを三脚に取り付ける。
- (2) ピント調節リングを回して合わせる。



3 双眼鏡の使い方

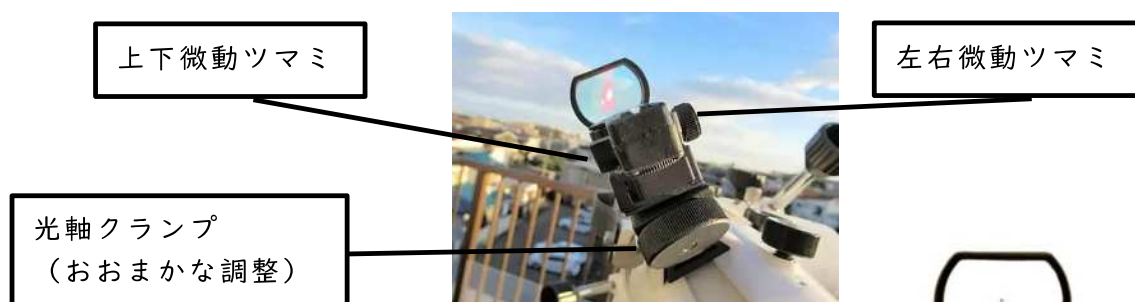
- (1) 右目をとじて左目のレンズのピントを調節する。
- (2) リング(双眼の間)を回して合わせる。
- (3) 左目をとじて右目のレンズのピントを視度調節リングで合わせる。



3 天体望遠の使い方

(1) ファインダーの調整

ファインダーとは、導入を補助する低倍率の小型望遠鏡のことです。南薩少年自然の家にある天体望遠鏡には、この小望遠鏡の代わりに「XY スポットファインダー」と呼ばれる、特殊なファインダーがついる。この「スポットファインダー」で捉えた天体が天体望遠鏡の視野にも入るようにしておく。



- ① 望遠鏡で遠くの目標物を捉え、視野の中央に入れる。
- ② ファインダーを調整し赤点を見えているものに合わせる。

※ファインダー見え方イメージ

(2) 観察対象に天体望遠鏡をむける。(フリーストップ)

(3) ファインダーを覗きながら、観測対象の天体とファインダーのスポットを合わせる。

(4) 接眼レンズを覗き、ピントを合わせる。



4 その他

- (1) 上記の機器の取り扱いについては、所員から説明を受けてください。
- (2) 上記以外の機器 (DVD 等) については、別途御相談ください。